

令和5年度 第1回帯広市防災会議【議事要旨】

日 時／令和6年2月20日(火)

午前10時00分～午前10時30分

場 所／帯広市役所10階第6会議室

1 開会

2 挨拶

米沢市長より挨拶

3 議事

委員27名全員の出席により、会議が成立している旨を報告。

【審議事項】

- 事務局より、帯広市地域防災計画の修正について「資料1-1」、帯広市水防計画の修正について「資料2-1」に基づき説明。委員からの意見はなく承認された。

【報告事項】

- 事務局より、令和5年度の防災対策事業の取り組みについて、資料3に基づいて説明を行った。また、令和6年度の防災対策事業(案)について、資料4に基づいて説明を行った。委員から以下の質問及び意見があった。

質問①

- ・指定避難所への非常用発電機の整備について説明があったが、避難所としての整備を考えると、最近の災害を見ていて感じるのは、本格的な災害に備えてLPガスのバルクの供給施設を避難所に設置するなどの対策も必要になってくるのではないか。

事務局回答

- ・主に電源関係について、3か年で指定避難所の非常用電源設備を整備している。既設の体育館の暖房設備と補助照明器具等が使えるようになるというもので、現在、運用している小型発電機に比べてかなり良くなる。避難所の環境の質を上げていくことが大事だと受け止めている。

質問②

- ・相互支援、相互応援という観点から、海溝型地震の場合は帯広市が後方支援拠点となる可能性があるが、その連携訓練はどうなっているか。

事務局回答

- ・広域の訓練ということだが、広域行政となると北海道庁となる。例えば昨年、大樹町等で広域の訓練を実施しており、私どもからも3名が参加し、現地の状況をつぶさに見させていただいた。それ以外にも、十勝の定住自立圏という協定を十勝の全町村と締結しており、その中でも防災関係については連携して取り組むとしているが、定住自立圏の中では訓練は想定していないものの、どういう物を持ち合わせているかとか有事の際に備えた情報の共有等をしている。

4 関係機関からの情報提供

帯広測候所より、令和5年の気象経過と今後の見通しについて、情報提供をいただいた。

5 閉会

以上